

2026年8月期 国内事業 月次売上速報
(2025年9月1日～2026年8月31日)

■売上高推移

(単位：%)

		前 期 比														
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	合計
全店(※1)	売上高	94.8	111.7	102.9	105.4	115.3	107.4	106.1	122.9						122.9	108.4
	客数	89.9	97.7	99.8	95.1	101.6	100.2	97.2	105.6						105.6	98.4
	客単価	105.5	114.3	103.1	110.8	113.5	107.2	109.1	116.4						116.4	110.1
既存店(※2)	売上高	94.6	110.8	101.9	104.9	112.8	107.6	104.8	120.0						120.0	106.2
	客数	90.0	95.3	97.1	92.9	99.5	98.3	94.9	100.6						100.6	95.3
	客単価	105.1	116.3	105.0	112.9	113.4	109.4	110.4	119.3						119.3	111.4

(※1) 全店：国内直営店+EC+富裕層ビジネス

(※2) 既存店：前期期首から期末まで通年で稼働した国内直営店

■月次動向(3月度)

<p>【販売情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月の既存店売上は、フェスタリア20周年企画の新作ファッションジュエリーが堅調に推移したことに加え、地金ジュエリーも好調に推移し、前年同期比122.9%と伸長しました。また、3Dカスタマイズシステムを中心にブライダル関連商品が引き続き好調であったことから、客単価が上昇し、増収に寄与しました。 ・EC売上は、システム変更に伴う自社オンラインサイトの一時停止の影響があったものの、他社モールにおけるキャンペーン施策が奏功し、増収となりました。 ・富裕層ビジネスは、催事への参画を通じて希少性の高い商材の販売が堅調に推移し、売上が拡大しました。 <p>【名簿数の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月末時点の登録名簿数は42.8万人となり、前期末(8月末)の38.8万人から4.0万人増加し、前期末比10.4%の増加となりました。
--

◆店舗数推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	上期平均稼働店舗数	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期平均稼働店舗数	通期平均稼働店舗数
国内直営店舗数	当期	76	75	76	76	75	75	76	75						75	75
	前期	77	77	77	77	77	75	77	75	75	75	75	75	75	75	76

◆出退店・改装情報

<p>【出店】 イオンモール須坂店(9月)、ニューポートひたちなかファッションクルーズ店(11月)、ジェイアール名古屋タカシマヤ店(3月)、天王寺ミオ店(3月)</p> <p>【退店】 セレオ八王子店(10月(一時閉店))、ららぽーと湘南平塚店(1月)、博多阪急店(3月)、モラージュ佐賀店(3月)</p> <p>【改装】 ららぽーとTOKYO-BAY店(10月)、横浜高島屋店(2月)</p>
--